

◎「会員だより」

10月号の「学ぶ・つなぐ・広げる」の「県の出先事務所の「若手技術職員育成」の取り組み」を読み、本県同様に人材育成に苦慮していることが、よくわかりました。採用人数の拡大や社会人経験者の採用などを進めています。採用後の即戦力化が今後の課題と考えているので、記事の取り組みを参考にしたいと思います。
匿名希望（都道府県勤務、47）

9月号の特集は「社会資本の戦略的な維持管理」でした。インフラを持続可能なものにするには、事後保全型から予防保全型の維持管理に移行する必要があることは、技術職は十分に理解していますが、予算を総括する事務職には、なかなか理解されにくいのが現状で、この壁を乗り越えるように努力しています。
匿名希望（市町村勤務、50）

今年の夏に発生した豪雨災害で今も続く全面通行止の現場を担当しています。困難な要求の多い中、出来ないことばかりで悩んでいましたが、10月号の「災害発生！そのとき」は、自分のすべきことを導いてもらえるような内容で、教訓、知見は響きました。これからもこのシリーズを楽しみにしています。
今川文（島根県勤務、42）

9月号の「特集」の「維持管理を起点とした下水道ストックマネジメント実現に向けて」を読んで、人材不足の中、ICTを現場だけではなく、計画策定にも役立てることが出来るのだと大変勉強になりました。
匿名希望（市町村勤務、32）

10月号の「後輩技術者に向けたメッセージ」を読みました。定年退職を迎え、一区切りついた先輩職員からのメッセージや感想など、今後の公務において参考になるものがあると思います。
匿名希望（市町村勤務、36）

10月号の「表紙」を見て、東海環状自動車道の橋脚のスパン長がかなり長いので、上部工の構造や架設方法について興味津々となりました。
渡部敏裕（市町村勤務、57）

10月号の「編集後記」に書かれているように、社会の役に立っているということが、やる気・働きがいの向上につながるのだと思います。これからも、土木事業のよさを、これからの土木を担うであろう若者たちに訴え続ける必要があると感じました。
匿名希望（都道府県勤務、53）

どこの県、市も人手不足は共通の課題である中、10月号の「特集」の「兵庫県における担い手確保の取り組み」を読んで、新聞による情報発信や資格取得支援など協議会による取り組みは大変参考になりました。
匿名希望（市町村勤務、56）

毎号の「表紙」の写真がどこの地域の現場か当てるのを楽しみにしています。特に有名な山とのショットはコレクションしたくなります。
山田美幸（山口県勤務、46）

最近、無人化・省力化の工事報告を目にすることが多いと思います。10月号の「特集」の「山岳トンネル工事におけるホールロード遠隔操作システムの活用」のトンネル工事のように、特殊技能が必要な現場にこそ省人化が必要と考えますが、試行している事例が少なく、情報を得る機会もあまりないため、貴重な報告だと思いました。
匿名希望（高速道路会社勤務、32）

数年前に技術士試験に挑戦し、結果は不合格でしたが、勉強することで得られた知識等は今も財産になっています。「技術資格試験合格体験記」の体験談を励みに、また試験に挑戦するつもりです！
匿名希望（市町村勤務、40）

10月号の大石会長の「上徳不徳」を読ませて頂き、建設業界への批判が適切で無いことを気付かされました。つつい批判に甘んじてしまいがちです。本コラムは貴重であり、我々に的確な視点を頂けると感じています。引き続きの掲載を楽しみにしています。
匿名希望（都道府県勤務、56）

「公務員技術者の訴訟リスク」では、毎回具体事例を通じて勉強させてもらっています。自分自身に置き換えると怖くなりますが、身近な問題として捉えるようにしています。
匿名希望（都道府県勤務、39）

10月号の「諸外国のインフラ情報」の「米国におけるインフラ再構築の動き」がとても興味深い内容でした。日本では5か年加速化対策が進んでいますが、他国のインフラ事情を参考にして、制度設計することも考えないといけないと感じました。
匿名希望（国土交通本省勤務、30）

「会員だより」を楽しく拝見しています。自分の感想と同じだったり、違った視点や感想を読めて、月刊「建設」を二度楽しんでいます。
匿名希望（島根県勤務、42）

業務において根拠法令の知識や理解がなく工事を実施していましたが、10月号の「基礎から学ぶ砂防事業」で自分の仕事の意義を知ることができました。モチベーションの向上に繋がっています。
武内陽平（都道府県勤務、35）

いつも月刊「建設」を楽しみに読んでいます。技術的な事だけでなく、土木技術者の心構えなど参考になることが多く、為になります。
匿名希望（都道府県勤務、48）

1年ほど前から「著者紹介」が掲載されるようになりました。略歴を見ると著者に対する親しみが湧き、寄稿文をより興味深く拝読できるようになりました。
匿名希望（地方整備局勤務、41）

◎「会員だより」の投稿を募集

月刊「建設」に関する意見・感想・要望、その他の全建活動（建設技術講習会、伝承プロジェクト、公務員賠償責任保険等）に関する意見・感想・要望、業務上の悩み等をお寄せください。お寄せいただいた意見等は、今後の編集等の参考にさせていただきます。月刊「建設」の「会員だより」に掲載させていただいた場合はクオカードを進呈いたします。詳細は全建HP上のバナーをクリックするか、右のQRコードを読み取ってください。たくさんのご応募をお待ちしております。

一般社団法人 全日本建設技術協会 事業課 峯脇・中嶋
TEL：03-3585-4546 / E-mail：kensetsu@zenken.com

